プロジェクトリーダー:愛知工業大学 工学部 建部謙治教授

事 業 実 績 調 書

(1) プロジェクト名 教員・児童を対象とした安全・安心行動計画

(2) プロジェクトの成果(※そのような成果が得られたかについて具体的に記載)

今年度は、瀬戸ティーチャーズアカデミーにおいて、教員を対象に、日常災害版すごろくの制作の ために、前年度同様に、講演会及びワークショップ(イベント①)を行った。

これを基にして、防災部会の教員による手造り日常災害版すごろくを制作した(イベント②)。

また、モデル校においてすごろくの活用実践(イベント③)を行い、事後評価を行うためアンケート 調査を実施した。

これと並行して、中学生を対象として判断型の図上訓練を、モデル校において火災図上訓練を実施した。電子版防災すごろくの検討も行った。

なお、今年度も日常災害版すごろくポスターを全校に配布し活用していただく。

また、本年度の成果を検証するため、アンケート調査による事後評価を行う予定である。

(3) プロジェクト実施内容(※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)

平成 30 年

- 5月25日(金)第一回会議、瀬戸市役所、事前打ち合わせ、4人
- 7月18日(水)第二回会議、愛知工業大学、事前打ち合わせ、4人
- 8月24日(金) ティーチャーズアカデミー、瀬戸市民ホール、日常災害に関する講演・ワークショップ、4グループに分かれてすごろくを制作、関係者を含む37人参加
- 10月15日(月)防災すごろくの電子版試作打合せ、

5人

10月23日(火)第三回会議、愛知工業大学、教員による地震版防災すごろくの制作、7人。平成31年

- 1月9日(水)第四回会議、品野中学校、火災図上訓練ワークショップ事前打ち合わせ、3人
- 1月18日(金)第五回会議、品野中学校、火災図上訓練ワークショップ、2年生26人
- 1月22日(火)防災すごろくワークショップと事後アンケート調査、水野小学校、3年生33人
- 1月25日(金)第六回会議、本山、研究報告、14人
- 2月19日(火)活動報告会、瀬戸蔵、2人
- 3月 小学校20校にすごろくポスターの配布110枚

(4) プロジェクトの今後の課題と展望

現在、小学校で行われている「避難訓練(実動型)」に加えて、「知識型の防災すごろく」、「判断型の 図上訓練」のセットで、教員・児童生徒を対象とした安全・安心行動が実現できると考えている。

このため、中学生徒を対象とした図上訓練にも取り組み、少年期の危機管理能力を習得させるシステムを構築する。

さらに、火災、地震、日常災害の三種類の災害を対象とし、児童生徒の保護者あるいは地域住民への 展開を図る。